

災害支援ナース活動報告書

報告者：石見勝志

所属施設：佐渡市立両津病院

報告月日：令和 6年2月19日

活動日	2月2日（金）～2月5日（月）
活動場所	施設名 石川総合スポーツセンター（1.5次避難所）
活動内容	<p>2月2日～2月3日（2交代夜勤） 2月4日（日勤） 2月5日（日勤）</p> <p>●メインアリーナ（2月2日～3日※2交代夜勤） 環境整備。バイタル測定。発熱・下痢・嘔吐などを伴う避難者様への対応。徘徊者・不穏者への付き添い。メンタルケア。服薬管理。DVTの予防。転倒患者様の状態観察。避難者の所在や状態をホワイトボードに記載。状態変化やベッド移動（テント移動）状況を確認し、PC入力。ホワイトボードとの相違がないか確認・修正。業務や避難者の状態申し送り。</p> <p>●サブアリーナ（2月4日・5日※日勤） 上記活動に加え、入所避難者のアナムネ聴取・退所時の確認。感染症エリア（COVID-19、ノロウイルス疑い）のバイタル測定・状態観察。DMAT撤退方針の為、今後の業務をDMAT、災害支援ナース、介護員などを中心に相談。次クールの災害支援ナースへ業務内容・課題（提案を含め）申し送り。</p>
所感	<p>入所避難者は能登半島の方が多く、避難者様より「必ず、またいつか能登へ帰りたい。」という言葉が多く聞かれた。その思いに寄りそうと共に、その為に今自分にできることは何かを、避難者個々の状態をアセスメントし、場面に応じたケアを提供できるように心がけた。</p> <p>1.5次避難所は今回の震災で初めて開設されたこともあり。その運営や活動のあり方も日々変動し、困惑することもあったが、多職種で建設的に意見を出し合い連携、業務調整ができていたと考える。</p> <p>平時とは明らかに異なる環境中で、体調を崩してしまう支援者もいた。避難者の支援と同様に自分たちの、安全・健康を維持し活動を継続していくことが重要であると感じた。</p>